



梅雨に入り、すっきりしないお天気が続いていますね。気温の高低差も大きく、体調を崩しやすくなっていますので皆さま気を付けてお過ごし下さい。

さて、先日長女がビデオ画面にくぎ付けになり、何かを繰り返し見ていました。何をしているのか、時々ニマニマ笑ったり、とても幸せそうな顔をしたりしているので後ろから覗き込むと、長女1歳の誕生日の日に撮影したビデオを見ていました。そこには父母の間に座ってテーブルを囲み、誕生日の歌を唄いながら手拍子したり、私の作った誕生日プレートを美味しそうに食べたりする姿が映っていました。ハンバーグを頬張り、「おいし〜い」と両手を頬に当てる長女、それをニコニコ見つめる主人と私。その光景を幸せそうに繰り返し見ていたのです。そして、「〇〇（長女）のだいすきなワンワンとうーたん（テレビのキャラクター）のごはんにしてくれたんだあ」「パパとママ、あ〜んってたべさせてくれてるね」「あのときのハンバーグすごくおいしかったなあ」「またつくって〜」とお喋りが止まらない様子でした。その様子を見た私は、なぜか反省し、切ない気持ちになりました。妹が生まれてからじっくり甘えさせてあげる時間って作れているのかな？と…。食事中、「ママ食べさせて〜」と言われても「ちょっと自分で頑張ってみて〜」と言いがちで、「抱っこして〜」の甘えた姿にも「いいよ」と言いつつ中々ゆっくり向き合っていない。“しっかりしてきた、色々わかってきた、できる事が増えた”事についつい厳しくしてしまいがちな自分の育児を反省しました。もう少し、小さな要求に丁寧に応えてあげよう、今しかない甘えてきてくれる姿にしっかり向き合ってあげよう！強くそう思いました。

そう気付かせてくれた昔の思い出さん、どうもありがとう。長女は嬉しそうに何度も見ていたので、その当時の思い出や「〇〇はこうだったんだよ〜」と当時の様子を伝えながら一緒に見ると、「ええ〜そうなの？」と言いながらもとても嬉しそうな長女。その後気持ちが満たされたのか、充電できたのか、「なにかおてつだいすることある？」等と色々な事に意欲的でした。

毎日の育児お疲れ様です！

